

純粹程度副詞に修飾される動詞句

疏 蒲劍

名古屋大学大学院国際言語文化研究科

shupujian@163.com

1. はじめに

日本語の程度副詞は「量的程度副詞」と「純粹程度副詞」に分けられる（森山 1985、仁田 2002 を参照）。このうち、「かなり」「だいぶ」「すこし」などの「量的程度副詞」は、(1)の「忙しい」という状態の程度を限定するほか、(2)の「歩く」という動作の量を限定する機能も兼ね備えるため、形容詞と動詞を両方修飾できる。一方、「とても」「非常に」「大変」などの「純粹程度副詞」は(1)の「忙しい」という状態の程度を限定できるが、(2)の「歩く」という動作の量を限定できないため、この場合、形容詞の方のみしか修飾する。

- (1) {かなり／だいぶ／すこし／とても／非常に／たいへん} 忙しい。
(2) {かなり／だいぶ／すこし／*とても／*非常に／*たいへん} 歩いた。

しかし、(3)の動詞「温まる」は「量的程度副詞」にも「純粹程度副詞」にも修飾される。

- (3) 体が {かなり／だいぶ／すこし／とても／非常に／たいへん} 温まった。

本発表では「純粹程度副詞」に修飾される動詞句の意味特徴について論じる。

2. 純粹程度副詞に修飾される動詞

本発表では『日本語基本動詞用法辞典』（小泉ほか：1989）に収録された「あ行」の動詞 121 語について、純粹程度副詞に修飾されるかどうかを考察した。例文にある動詞の直前に「とても」「非常に」「たいへん」をそれぞれ挿入し、どれか1つ共起することができれば、修飾可能とする。

調査した結果、121 語のうち、この辞書に収録されたすべての意味において純粹程度副詞に修飾される動詞は次の 14 語である。

愛する、呆れる、慌てる、安心する、急ぐ、痛む・傷む・悼む、痛める・傷める、要る、疑う、遅れる、怒る、恐れる、驚かす、驚く

次に、収録された意味のどれにおいても修飾されない動詞は次の 62 語である。

挨拶する、会う、上がる（「食べる・飲む」の尊敬語）、上がる（「訪問する」の謙讓語）、諦める、飽きる、握手する、明ける・開ける・空ける、上げる（「やる」「与える」の美化語）、預かる、預ける、扱う、謝る、洗う、争う、歩く、合わせる、案内する、言う、致す、頂く・戴く、祈る、意味する、いらっしゃる、居る、祝う、植える、伺う、浮かぶ、浮かべる、受け取る、失う、歌う、写す・映す、移す、移る、生まれる、産む・生む、運転する、運動する、選ぶ、得る、終える、拝む、起きる、置く、起こす・興す、起こる・興る、送る、贈る、行う、教える、押す、教わる、おっしゃる、思い出す、泳ぐ、及ぶ、降りる・下りる、居る、降ろす・下ろす・卸す、終わる

最後に、一部の意味において純粹程度副詞に修飾される動詞は表 1 の 45 語である。

表 1 一部の意味において純粹程度副詞に修飾される動詞

No.	動詞の表記	例文（純粹程度副詞は省略した。「；」は違う意味を示す）
1	合う	「帯が着物に合う」；「この靴は僕の足にあっている」；「つじつまが合う」
2	上がる・揚がる	「列車のスピードが上がった」；「*群衆の中から悲鳴が上がった」 「評判が上がる」；「弘は上がってしまった」
3	開く・空く	「{*隣の席/?アパートの部屋/時間}が空く」
4	上げる・揚げる	「列車はスピードを上げた」；「*部屋の温度を 18 度から 20 度に上げる」
5	遊ぶ	「*真由美はこの夏中遊んでしまった」；「真由美は若い時遊んでいた」
6	与える	「先生は多くの学生に影響を与えた」
7	暖まる・温まる	「味噌汁が温まった」；「?私たちはたき火で暖まった」
8	暖める・温める	「?母は味噌汁を温めた」
9	当たる	「天気予報が当たる」；「??新しく始めた商売が当たった」
10	集まる	「世間の関心は事件の成行きに集まっている」；「??洒落た店が町のその一面に集まっている」
11	集める	「*校長先生は生徒全員を講堂に集めた」；「首脳会議は世界中の

		注目を集めた」
12	当てる	「?株で当てる」；「??弘は彼女の毒気に当てられた」
13	余る	「お金が余る」；「*この問題は我々の力に余る」
14	改まる	「生活態度が改まる」
15	改める	「?息子はこれまでの態度を改めた」
16	現す・表す・著す	「?夫は驚きを顔に表した」
17	現れる・表れる	「夫の顔に不満の表情が表れた」
18	在る・有る	「彼には{才能/*権利}がある」；「彼はこの問題に責任がある」
19	生かす	「洋子は仕事に自分の才能を生かしている」；「今回の公演ではわき役が渋い演技で主役を生かしている」
20	生きる	「*この規則はまだ生きている」；「その一語で文章が生きる」
21	行く	「納得がいく」
22	入れる	「肩を入れる」「気を入れる」「気合いを入れる」「*腰を入れる」 「力を入れる」「念を入れる」「*本腰を入れる」「身を入れる」 「??焼きを入れる」
23	浮く	「金具が土台から浮いている」；「{食費/?時間}が浮いた」
24	受ける	「私はその知らせにショックを受けた」；「あの俳優は女性に受けている」
25	動かす	「?この演説は大衆を動かした」
26	動く	「この演説で大衆の心が動いた」
27	打つ・撃つ・討つ	「*その生徒の言葉がみんなの心を打った」
28	訴える	「彼の演説は大衆の心に訴えた」
29	映る・写る	「裏が写っている」
30	奪う	「彼女の踊りは観衆の目を奪った」
31	売る	「その作家は芥川賞で名を売った」
32	売れる	「帽子が売れる」；「?その作家は世界中で名が売れている」
33	影響する	「??睡眠不足が勝敗に影響した」 「生きた菌は熱に影響される」
34	遠慮する	「客は遠慮しているようだ」 「*客はお酒を遠慮しているようだ」
35	追う	「?流行を追う」「?夢を追う」；「父は仕事に追われている」「生活に追われる」
36	押さえる・抑える	「?母は食費を抑えた」 「?政府は物価の上昇を抑えた」
37	落ちる	「その歌手の人気は落ちた」；「*地獄に落ちる」

38	落とす	「声を落とす」
39	劣る	「日本人は体力で欧米人 {に/*より} 劣る」
40	踊る・躍る	「 [?] 恵子は初めての外国行きに心が躍った」
41	覚える	「弘は足に痛みを覚えた」
42	溺れる	「健二は女におぼれた」
43	思う	「彼の意見を建設的だと思った」；「彼女は恋人のことを思っている」
44	折る	「 [?] 後輩の就職のために骨を折った」
45	折れる	「この仕事は骨が折れる」

3. 考察

本発表では調査の結果に対して次の3つの視点から考察する。

- ① 純粹程度副詞に修飾される動詞句の意味特徴
- ② 多義性のある動詞が純粹程度副詞に修飾される場合と修飾されない場合の違い
- ③ 自他、ボイス、アスペクト、語順（程度副詞の位置）などによる修飾可能性への影響

参考文献

- 小泉 保ほか 1989 『日本語基本動詞用法辞典』大修館書店
 仁田義雄 2002 『副詞的表現の諸相』くろしお出版
 森山卓郎 1985 「程度副詞と動詞句」『京都教育大学国文学会誌』20